

令和6年度 九州看護福祉大学

授業評価アンケート結果 報告書



九州看護福祉大学

自己点検・自己評価委員会

～目次～

1. 令和6年度授業評価アンケートの概要	1
2. 授業評価アンケート結果	3
3. 授業に関する自己点検・自己評価	4
4. 謝辞	7

1. 令和6年度 授業評価アンケートの概要

1) 実施の目的と方法

令和6年度授業評価アンケートは、自己点検・自己評価委員会が作成し、授業に対する学生の評価、意見を聴取し、その結果を授業内容にフィードバックし、教育方法の改善を図ることを目的として実施された。評価対象科目は、卒業・研究論文、演習科目、実習科目、履修登録者数が10人未満の科目を除く令和6年度の開講科目とした。

アンケート調査は、表1の7つの分野について行われた。

表1. アンケート調査の7分野

内容
1. あなたの授業態度について
2. 授業内容について
3. 教員の教え方について
4. 教員の姿勢について
5. 総合評価について
6. 担当教員のオリジナル設問
7. 自由記入

アンケート調査は、学務情報処理システム・Campus Square を用いて行われた。調査は、科目責任者が、学生の成績評価には影響しないことを説明したうえで、無記名で実施された。実施時期は、第1学期の前半科目が令和6年5月20日（月）から6月10日（月）、第1学期科目及び後半科目が令和6年7月17日（水）から8月9日（金）までの間、第2学期の前半科目が令和6年10月30日（水）から11月23日（土）、第2学期科目及び後半科目が令和7年1月6日（月）から1月30日（木）までの間であった。

調査票の概要は表2の通りである。

表 2. 調査票の概要

【A. 設問内容】	
1.	この授業の予習・復習の時間は、どれくらいですか。
②	この授業の内容をきちんとノートにとりましたか。
③	この授業に臨んだあなたの授業態度は、よかったと思いますか。
④	あなたの私語で、他の学生に迷惑をかけたと思いますか。
⑤	あなたの途中の入退出で、他の学生に迷惑をかけたか。
6.	この授業に興味・関心がもてましたか。
7.	この授業をよく理解できましたか。
8.	この授業は、あなたにとって有益（効果的）でしたか。
9.	この授業は、目標が明確で体系的に行われていましたか。
10.	この授業に集中できる雰囲気が保たれていましたか。
11.	教員の声や言葉は、明確で聞き取りやすかったですか。
12.	教員の教材（教科書、視聴覚教材、配布プリント）の使い方は、適切でしたか。
13.	教員は、質疑応答の機会を適切に作っていましたか。
14.	教員は、授業時間をよく守っていましたか。
⑮	教員は、この授業に熱意をもって臨んでいましたか。
16.	教員は、学生の理解度が高まるように工夫して授業を行いましたか。
17.	教員は、私語や途中の入退出に対して適切に対処しましたか。
18.	総合的に判断して、この授業に満足しましたか。
19.	担当教員のオリジナル設問 1
⑳	担当教員のオリジナル設問 2
21.	自由記入欄
【B. 回答方法】	
設問 1 :	①3 時間以上、②2.5 時間、③2 時間、④1 時間、⑤30 分未満、の 5 つの選択肢から一つだけを選択。
設問 2~20 :	①全くそう思う、②そう思う、③どちらともいえない、④そう思わない、⑤まったくそう思わない、の 5 つの選択肢から一つだけを選択。
設問 21 :	自由記入

※令和 6 年第 2 学期の授業評価アンケートでは○の質問項目を削除

2) 分析方法

各質問項目の選択肢には、表 3 のようなスコアを設定した。

表 3. 選択肢のスコアリング法

設問 2～18	設問 1	スコア
① まったくそう思う	① 3 時間以上	5
② そう思う	② 2.5 時間	4
③ どちらともいえない	③ 2 時間	3
④ そう思わない	④ 1 時間	2
⑤ まったくそう思わない	⑤ 30 分未満	1

設問 19 と 20 は任意の設問のため、全体の集計からは除外した。また、設問 21 は、自由記入であり数値としての処理が困難なため、同様に全体の集計からは除外した。データは学科、学年ごと及び学部全体で集計した。「2. 授業評価アンケート結果」の各表内の数値は、すべて小数点第 1 位までの平均値で表記した。

2. 授業評価アンケート結果

1) 実施状況

授業評価アンケートの実施状況は、表 4 の通りである。

表 4. 授業評価アンケートの実施状況

学部全体	実施科目数	実施科目の履修登録者数(人)	回答者数(人)	回答率(回答者数/実施科目の登録者数、%)
第 1 学期	208	8,167	4,882	60%
第 2 学期	199	7,512	3,370	45%

2) アンケート結果

アンケートの結果は、表 5、6 の通りである。

表 5. 学年別アンケート結果 (第 1 学期分)

設問内容	全学年	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
1 この授業の予習・復習の時間は、どれくらいですか。	1.8	1.8	1.8	1.8	2.1
2 この授業の内容をきちんとノートにとりましたか。	4.0	3.9	4.2	4.2	3.9
3 あなたの授業態度は、よかったですと思いますか。	4.3	4.3	4.4	4.4	4.3
4 私語で、他の学生に迷惑をかけたと思いますか。	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7
5 途中の入退出で、他の学生に迷惑をかけましたか。	4.7	4.8	4.7	4.7	4.7
6 この授業に興味・関心がもてましたか。	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2
7 この授業をよく理解できましたか。	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1
8 この授業は、あなたにとって有益(効果的)でしたか。	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4

9	授業は、目標が明確で体系的に行われていましたか。	4.3	4.2	4.3	4.3	4.4
10	この授業に集中できる雰囲気が保たれていましたか。	4.3	4.2	4.3	4.3	4.4
11	教員の声や言葉は、明確で聞き取りやすかったか。	4.3	4.3	4.3	4.4	4.5
12	教員の教材の使い方は、適切でしたか。	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4
13	教員は、質疑応答の機会を適切に作っていましたか。	4.2	4.2	4.3	4.3	4.4
14	教員は、授業時間をよく守っていましたか。	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6
15	教員は、この授業に熱意をもって臨んでいましたか。	4.4	4.4	4.4	4.5	4.6
16	授業は理解度が高まるように工夫されていましたか。	4.3	4.2	4.3	4.4	4.4
17	教員は、私語などに対して適切に対処しましたか。	4.3	4.2	4.3	4.4	4.4
18	総合的に判断して、この授業に満足しましたか。	4.3	4.3	4.3	4.4	4.4

表 6. 学年別アンケート結果（第 2 学期分）

	設問内容	全学年	1年生	2年生	3年生	4年生
1	この授業の予習・復習の時間は、どれくらいですか。	1.9	1.9	1.8	1.7	2.5
2	この授業に興味・関心がもてましたか。	4.1	4.1	4.1	4.3	4.1
3	この授業をよく理解できましたか。	4.0	3.9	4.0	4.1	4.0
4	この授業は、あなたにとって有益（効果的）でしたか。	4.2	4.2	4.2	4.5	4.2
5	授業は、目標が明確で体系的に行われていましたか。	4.2	4.2	4.3	4.4	4.2
6	この授業に集中できる雰囲気が保たれていましたか。	4.3	4.2	4.3	4.4	4.2
7	教員の声や言葉は、明確で聞き取りやすかったか。	4.3	4.3	4.3	4.5	4.2
8	教員の教材の使い方は、適切でしたか。	4.2	4.2	4.3	4.4	4.2
9	教員は、質疑応答の機会を適切に作っていましたか。	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2
10	教員は、授業時間をよく守っていましたか。	4.4	4.4	4.4	4.6	4.4
11	授業は理解度が高まるように工夫されていましたか。	4.2	4.2	4.3	4.4	4.2
12	教員は、私語などに対して適切に対処しましたか。	4.2	4.2	4.3	4.4	4.3
13	総合的に判断して、この授業に満足しましたか。	4.2	4.2	4.3	4.5	4.2

3. 授業に関する自己点検・自己評価

1) 「授業に関する個人報告書」について

科目責任者は、授業評価アンケートの結果に基づき、授業科目ごとに「授業に関する個人報告書」（以下、「個人報告書」）を作成して、所定の期日までに教務課に提出し、同報告書は教務課で一括して保管されている。

科目責任者は、この「個人報告書」に基づいて授業改善の方策を立案し、それぞれ改善策

を講じている。「個人報告書」の概要は表7の通りで、分量はA4版で数ページである。

表7. 「授業に関する個人報告書」の概要

令和 年度 第 学期 授業に関する個人報告書
A. 概要
1. 報告者氏名：
2. 授業評価実施日
3. 科 目 名
4. 学 科 名
5. 登 録 学 生 数
6. 科目責任者名
B. 自己点検・自己評価（400字以内）
C. 改善課題（200字以内）
D. 改善計画（200字以内）

2) 「個人報告書」の提出状況について

「個人報告書」の提出状況は、表8、9の通りである。なお、各学科における対象科目数とは、当該学科において開講されている科目（評価対象外科目を除く）を指す。

表8. 「個人報告書」の提出状況（第1学期分）

学 科	対象科目数	提出科目数	提出率(%)
看護学科科目	68	41	60.2%
社会福祉学科科目	64	43	67.1%
リハビリテーション学科科目	37	30	81.0%
鍼灸スポーツ学科科目	47	35	74.4%
口腔保健学科科目	52	36	69.2%
学部全体	268	185	69.0%

表9. 「個人報告書」の提出状況（第2学期分）

学 科	対象科目数	提出科目数	提出率(%)
看護学科科目	39	24	61.5%
社会福祉学科科目	55	25	45.4%
リハビリテーション学科科目	31	26	83.8%
鍼灸スポーツ学科科目	33	26	78.7%
口腔保健学科科目	24	17	70.8%
学部全体	182	118	64.8%

3) 「個人報告書」の抜粋

令和6年度の個人報告書には次のような記載があった(表10、11)。

表10. 【第1学期個人報告書からの抜粋】

1	学生自身の満足度や取り組みとしては4.5以上を獲得し、教員評価でも同様に4.5以上の高得点であった。自由記載に47の意見があったが、演習内容としてはみな満足もしくは楽しいとの評価を得ることができた。
2	学生自身の学習態度(私語や途中入退室)に関する評価は非常に高かった(平均点4.67)。授業態度はまじめに取り組んでいた。授業に関心を持ったようである。 授業の理解については、平均点4.0とやや低くなったが、ほとんどの履修者は実習経験がなく、事例を通して情報収集や支援方針をすることの難しさがあったと考える。
3	個別の意見として「課題の説明が不明確」「授業プリントの文字数が多い」などが挙げられた。昨年と比べて平均点は不変もしくは微減であった。 また、予習復習時間の増大、知識の振り返りを目的に、複数回の小テストを実施した。予習時間は微増したが、興味・関心や理解度の向上には至らなかった。
4	授業内容、テーマに関しては興味を持つことができるようなものを選ぶことができているため、より理解を深めることができるよう、授業方法、スライド・配布資料といった教材を改善する必要がある。 授業の雰囲気づくりについては、特に授業中の私語、途中での入退室への対応が十分でなかったため、ルールの明確化、学生が集中して授業を受けることができるよう、注意喚起を行う。
5	平均点は4.5であった。学生自身にとって、有益(効果的)4.6、興味・関心4.7、と高い一方、予習・復習の時間は2.0と低かった。授業方法では、授業時間の厳守4.6、体系的講義4.6、理解度に合わせた講義4.6、適切な教材4.7等で、学生の理解度に合わせた講義内容であったと評価する。学生自身は、私語や途中入退室もほとんどなく、他人への迷惑感のなさは4.8と高く、講義への参加姿勢は望ましいものだった
6	毎回の小テストはMicrosoft Teamsで行い、学生がその場で正解を確認できるようにするとともに、復習のヒントとなるフィードバックを示している。そのフィードバックをもとにどのように振り返りを行うかの説明もあわせて行っている。それらを行えば、予習復習時間は2~4時間必要になるよう工夫している。

表11. 【第2学期個人報告書からの抜粋】

1	オリジナルで作成したppt資料をスクリーンやモニターに映し、教科書だけでなくオリジナルで作成した図表を用いて説明しながら、学生には配布資料の講義レジュメにキーワードを書き入れてもらう形で講義を進めた。他の担当者もそれぞれオリジナルで作成したppt資料や講義レジュメを使い講義を行った。
---	--

2	課題としては、多くの学生に見られる予習・復習の時間の少なさが挙げられる。今年度は講義に対する感想ペーパー等に対して真面目・積極的に取り組む学生は多かったが、それでも事前・事後学修の時間が少なかった点は残念であった。
3	5ヶ月ほど前に詳細な範囲を事前通知した上で、授業の初回に実力テストを行い、主体的な学びの促進を試みている。これらにより、目的の70%は達成できたものと考えている。
4	2学期になって、大学生活への馴れと緊張感の低下に伴い、予習を行ってくる学生が顕著に減少。高校までの時点で、自宅での学習習慣が形成されていない学生が殆どと推察され、それを前提に「5分間でいいから、講義プリントを読んで来る」という内容で予習の実施を促してきた。
5	学生が自分で考えて提案する、発信する機会をもっとふやす授業構成を考案する。ただし、知識を伝達する授業よりも時間が必要となるので、こういったバランスで時間を配分するか、またトピックの選定もしっかり吟味する必要がある。
6	できるだけ多くの学生が発言できるように、また、わからない単語の意味をすぐに教えるのではなく、その単語に関連のある、学生が知っているだろう単語を投げかけて、推測させるように努めた。全体として学生の評価も高かった。

4. 謝辞

令和6年度第1学期、第2学期の授業評価アンケート実施において、ご協力いただいた本学学生の皆様に深謝申し上げます。

令和 6 年度 九州看護福祉大学授業評価アンケート結果報告書

発行日：令和 7 年 6 月 30 日

発行者：九州看護福祉大学 自己点検・自己評価委員会

〒865-0062 熊本県玉名市富尾 888 番地

TEL：0968-75-1800